



これだけは覚えましょう

「～がかかっています」という日本語を There is ～ + 前置詞 + 名詞 . で英語にすることができます。

over [オーヴア] ～を横切って向こうまで

on [アンヌ/オンヌ] ～の上に接触して

against [アゲンストウ] ～によりかかって

for [フォー] ～のために

from [フウラム/フウロム] ～から

in [インヌ] ～の中に、～に、～には



まちがしやすい英語表現の解説

(8) a lot of rain (たくさんの雨) となっていて rain に s がついていないので There is ～.

6月はとなっても in June (6月には) と考えてください。

(9) a lot of car accidents (たくさんの自動車事故) となっていて accident に s がついているので There are ～.

(12) There is not a cloud.

1つの雲もない

(13) 1つしかないのが普通のもので、1つもないと考えると There is no cloud.

(14) たくさんあるのが普通のもので、1つもないと考えると There are no clouds. となります。



これだけは覚えましょう

a rainbow [ウレーインボーウ] 虹

a bridge [フウリツチ] 橋

- a kettle [ケトー] やかん
- the burner [バ~ナア] ガス (コンロ)
- a ladder [レアダア] はしご
- the wall [ウォーオ] 壁、塀^{へい}
- water [ウォータア] 水
- the river [ウリヴァ] 川
- accidents [エアクスイデンツ] (2件以上の) 事故
- sunny days [サニイ デーズ] (2日以上の) 晴れの日
- thin ice [スイナーイス] うすい氷
- a cloud [クラウドウ] 雲
- June [チューンヌ] 6月
- October [アクトーウバア] 10月
- a light wind [ラーイトウ ウインドウ] そよ風
- somewhere [サムウエアア] どこか

解答

- (1) There (is) a rainbow.
- (2) There (is) a bridge (over) the river.
- (3) There (is) a kettle (on) the burner.
- (4) There (is) a ladder (against) the wall.
- (5) There (is) a call (for) you.
- (6) There (is) a call (from) Ai.
- (7) There (is) a lot of water (in) this river.
- (8) There (is) a lot of rain (in) June.
- (9) There (are) a lot of car accidents around here.
- (10) There (are) many sunny days (in) October.
- (11) There (is) thin ice (on) the pond.
- (12) There (is) not a cloud in the sky.
- (13) There (is) no cloud in the sky.
- (14) There (are) no clouds in the sky.
- (15) There (is) a light wind (from) somewhere.



これだけは覚えましょう

[be 動詞の使い分け方]

I am —————
 You are —————

はじめから決まっています。

次のようなルールがあります。

- ① 主語が 1 人 [1 つ] is
- ② 主語が 2 人 [2 つ] 以上 are



まちがしやすい英語表現の解説

- (4) トニー君と私は先生です。

英語の be 動詞は、イコールの意味をあらわすことができます。

トニー君と私は先生です。

Tony and I () teachers.

2人 = 2人

このように考えると are になることがわかります。

- (12) どなたですか。[戸口での会話]

英語では、顔が見えないときは、it を主語にします。

it が主語なので is が入ります。

「どなたですか。」というつもりで “Who are you?” と言うと「お前はだれだ。」のようになるので注意してください。

この場合は顔が見えている例です。

- (13) どちら様ですか。[電話での会話]

電話の場合も顔が見えないので Who are you? とは言いません。

電話の場合には it ではなく this を使うことになっています。こ

の場合は、this が主語なので is が入ります。

(15) ここはどこですか。

この場合、何人かで車に乗っていて、「ここはどこですか。」と
言っています。もう少しよくわかる意味に言いかえると「私たちは
どこにいますか。」となります。主語が we なので are になりま
す。be 動詞にはですのほかに、います、ありますをあらわす場
合もあるのです。

解答

- (1) I (am) a teacher.
- (2) You (are) a student.
- (3) Tony (is) a teacher, too.
- (4) Tony and I (are) teachers.
- (5) We (are) busy.
- (6) They (are) running.
- (7) This dog (is) pretty.
- (8) These dogs (are) white.
- (9) That cat (is) big.
- (10) Those cats (are) small.
- (11) Who (is) that boy?
- (12) Who (is) it?
- (13) Who (is) this, please?
- (14) Whose book (is) this?
- (15) Where (are) we?